



みんなのできる 地球温暖化防止活動

—Maas(マース)で地域の困りごとを解決していきます!!—

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■トヨタネッツ福島株式会社

トヨタネッツ福島株式会社(福島市)の代表取締役社長に2013年6月に就任した大沼健弘さんは、経営で大切にしていることは何ですかという質問に、「ステークホルダーを大切にしています。」と回答します。ステークホルダーとは、利害関係者のことです。具体的には「地域社会や社員、メーカー、株主のことです。」もちろん、環境など社会的な課題も含まれます。「地域社会に愛され、社員やその家族から愛される企業を目指しています。」

■Maas(マース)

大沼さんから「マースってご存知ですか?」と逆に質問されました。「Maasです。Mobility as a Serviceの頭文字です。日本語では、サービスとしてのモビリティと訳されます。」自動車などの移動手段を通して、通勤や旅行、運送などに関する検索・予約・決済などの移動サービスを総合的に行うことです。電気

自動車の蓄電池を、災害時に停電で困っている家庭や医療機関などへ緊急給電する仕組みなどもMaasです。「当社ではすでに、病院などの送迎を効率的に行うデマンドタクシーを企画・運営しています。」

■MIRAI(ミライ)

「トヨタのMIRAIは水素自動車です。燃料電池に水素と空気中の酸素を供給し、化学反応で電気を発生させて走ります。走行時、二酸化炭素が発生しません。カーボンニュートラルな社会づくりに貢献できます。」水素というエネルギーについての知識や技術を蓄積し、水素を利用する機会や人が増えることが大事だと言います。「経済的合理性を整えることや産学官の連携も大切です。」県内の環境イベントにも積極的に出展しています。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

大沼さんは、雪が積もらなくなったことや果物などの食べ物の旬が早くなり、四季を感じるタイミングがずれてきていると感じています。「福島盆地が大好きです。四季折々の絵姿を見せる花見山や吾妻小富士には小さな頃からなじんできました。」

SDGsに関する取組も、出張授業で行っています。「未来を担う若い人たちからは、もっと私たち大人ができること、やるべきことを教えてほしいです。できれば、一緒に事業に取組みたいです。」という要望も。

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>